

11
月号

ふじの

REPORT

奈良県議会議員 ふじの 良次

県政
レポート

Vol.
160

2025年
11月号

報告!「経済労働委員会」

奈良県の観光・労働・雇用



9月17日開会の「定例県議会」は、高校無償化に関する国制度の拡充に伴う支援事業や災害対策本部機能強化事業及び防災体制整備事業、消防学校及び高田こども家庭相談センターの移転整備に向けた基本計画の策定事業など、総額12億7千106万8千円の一般会計補正予算案（第2号）を始め、条例の改正案等、16議案については、

10月9日の本会議において原案どおり可決いたしました。

また、実質収支が約30億円の黒字となった令和6年度一般会計決算については、24日の本会議において、原案どおり認定され、1ヶ月余りにわたる「定例議会」は、閉会いたしました。一般会計決算の概要等については、裏面で記載のとおりですが、決算審査特別委員会で行われた議論や施策の検証については、新年度予算（令和8年度）に反映されるよう求めてまいりたいと思っています。

さて、「定例議会」の会期中に開催されました「経済労働委員会」における質疑の概要について、ご報告させて

いただきます。当委員会は、環境森林部、産業部、食農部、観光局、労働委員会などが主な所管事項となります。まずは、今日、外国人を始め多くの観光客で賑わう、奈良公園において、全体の保安業務や環境整備、災害対策などを行う「奈良公園事務所の業務」についての質問です。現在、奈良公園の鹿が何かと話題になっていますが、公園内で働く“保安員”の業務も多岐多様にわたっており、最近では、増加している外国人観光客のトラブルへの対応など、業務量が増えている状況であり、多様なニーズへの対応や技術力の維持・継承及び公共の責任を果たすためにも、一定の技能労務職員の確保が必要であり、今後の安定的かつ計画的な採用を求めたところです。

次に「2026年NHK大河ドラマを活用した誘客促進事業」の質問です。ご承知のように、来年からNHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」が放映されますが、奈良県が大河ドラマの舞台となるのは実に5年振りであり、大阪・関西万博の次なる誘客の手立てと

して取り組みが進められています。現在、観光客向けのパンフレットやウェブサイトなどの制作や、大河に関連したお土産物の開発のアイデアコンテストの開催を予定。今後は、秀長公の生い立ちに沿った愛知県、滋賀県、そして奈良県の3県連携による広域周遊を促すような企画や、大和郡山市、宇陀市、高取町など、秀長公と特にゆかりの深い地域の関係者と連携、協力をして、観光振興による地域の活性化を図っていききたいとの答弁があり、期待を膨らませながら、今後の展開を見守ってまいりたいと思います。最後に「高齢者雇用」の質問です。

国においては、本年4月に「高年齢者雇用安定法」の改正に伴い、様々な支援策が行われています。県においても「キャリアチェンジ」等の取り組みも行われていますが、働く意欲のある高年齢者の雇用促進と働きやすい職場環境づくりに向けて、労働局と連携しながら県内企業に対して強く求めて欲しいと要望しました。以上、質問の詳細については、「ふじの良次ホームページ」に掲載していますので、是非ご覧ください。



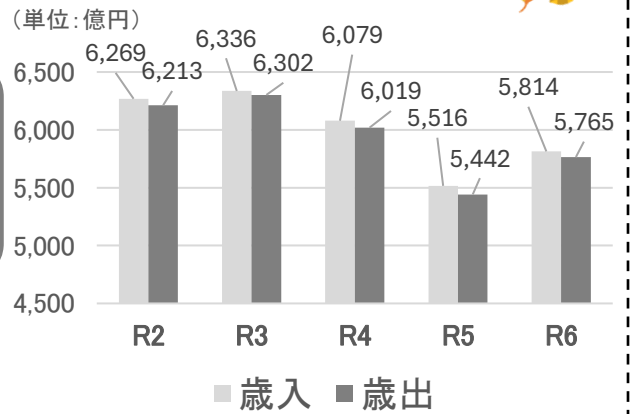
令和6年度一般会計決算の概要

決算の全体像

- ◇歳入 5,814億円(令和5年度 5,516億円 +298億円)
- ◇歳出 5,765億円(令和5年度 5,442億円 +323億円)
- ◇実質収支 30億円(令和5年度 49億円 △19億円)
※コロナ感染症対策にかかる国庫支出金の
精算による影響が減少

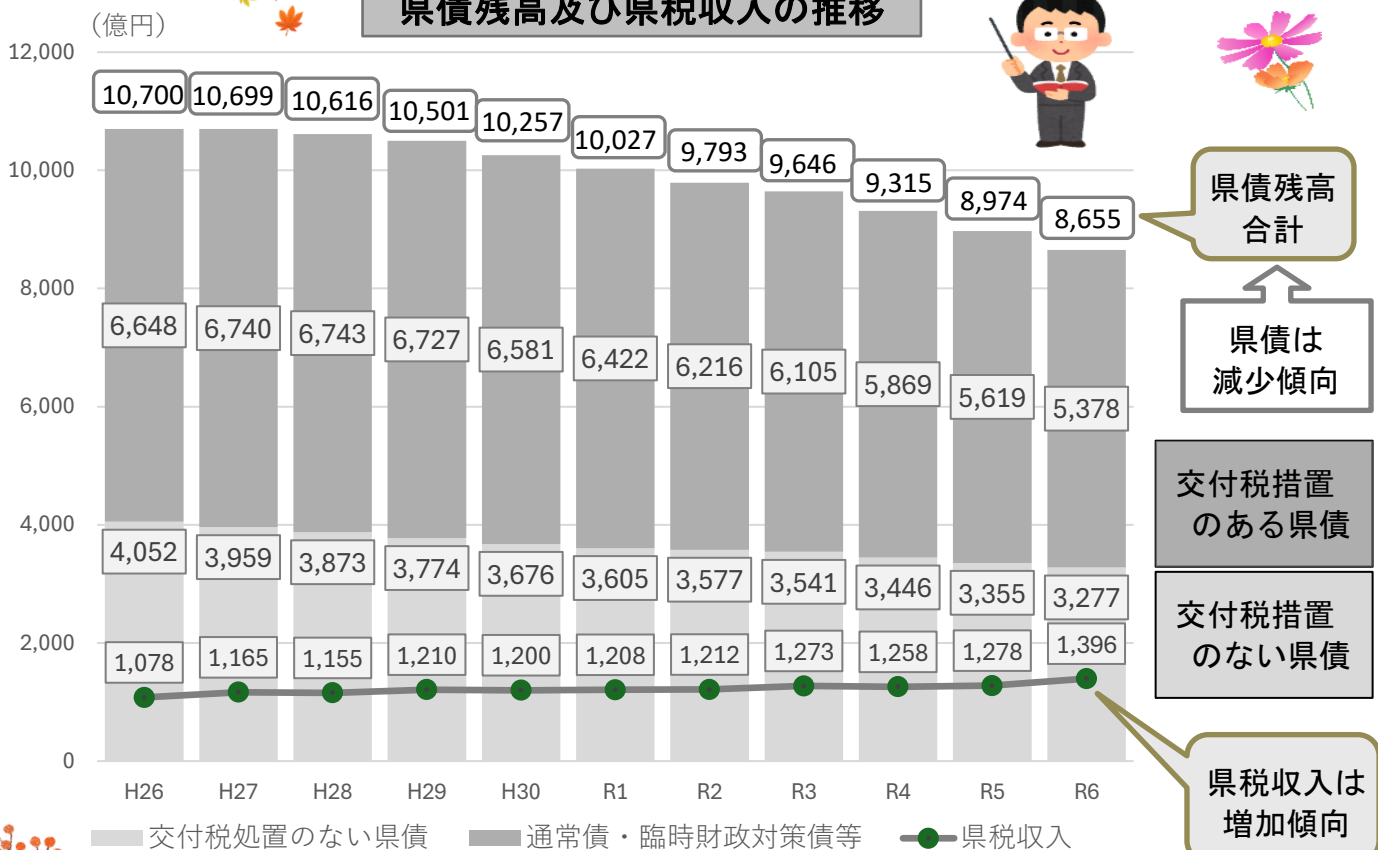
●県債残高は、交付税措置のない県債の発行を抑制したことにより、ピーク時の平成26年度から10年連続して減少。

●交付税措置のない県債残高も引き続き減少し、県税収入額に対する割合も2.3倍と、前年度の2.6倍より改善。



注) 本資料の数値については、表示単位未満で四捨五入しているため、数値の計と合計が一致しない場合がある。

県債残高及び県税収入の推移



徳勝龍関の優勝額及び化粧まわしを県に寄贈



奈良県出身の元幕内力士、徳勝龍(現千田川親方)が優勝額と化粧まわし2本を奈良県に寄贈されました。奈良公園バスターミナルに常設することとなり、10月10日除幕式が行われました。千田川親方は2020年1月場所で幕内初優勝し、県出身の力士では大正11年以来98年ぶりの快挙として話題になりました。優勝額はその後5年間両国国技館に飾られ、このほど本人に戻されました。

明日香村

「Best Tourism Villages」
認定!

国連世界観光機関が実施する「Best Tourism Villages(ベスト・ツーリズム・ビレッジ)」は、観光を通じて文化遺産の保全や持続可能な開発に取り組む優良地域を認定するプロジェクトで、観光庁が推奨する国際認証の一つです。